

## 平成 18 年度 全国循環器撮影研究会理事会議事録抄

日 時：平成 19 年 4 月 14 日（土）13:00～16:00

会 場：横浜市開港記念会館 神奈川県横浜市中区本町 1-6

出席者：会 長 安永 国広

監 事 水谷 宏、横田 忍

理 事 若松 修（常任理事）、土佐 鉄雄（常任理事）、吉村 秀太郎（常任理事）

高須賀 正章、可児 敏廣、今田 直幸、小川 和久

米沢 正雄（欠席）、井上 勝広（欠席）

事務局長 田辺 智晴

経理局長 横山 博典

### 議題 1 . 平成 18 年度会務報告

#### 1) 平成 18 年度活動報告

##### (1) 活動報告（安永会長）

第 20 回全国循環器撮影研究会総会・学術研究発表会を開催（横浜市開港記念会館）(H18.4)

第 21 回特別講演会・学術研究発表会の企画を若松総会企画委員長に依頼(H18.10)

被ばく低減セミナーテキスト編集員長を横田豊編集委員長に依頼(H18.4)

被ばく線量低減推進施設認定基準作成委員長を加藤京一委員長に依頼(H18.4)

全国統一被ばく線量測定班班長を才田壽一班長に依頼(H18.4)

だより No.18 を発行（H17.7）

第 10 回循環器被ばく低減技術セミナー開催（H18.9.2）

担当研究会：循環器画像撮影研究会

開催場所：NTT 東日本関東病院（受講者：45 名）

講師派遣：東京大学病院 中川 恵一 先生

第 11 回循環器被ばく低減技術セミナー開催（H18.9.23）

担当研究会：東北循環器撮影研究会

開催場所：弘前大学医学部臨床小講堂(受講者：57 名)

講師派遣：千田浩一（東北大学医学部保健学科）

第 12 回循環器被ばく低減技術セミナー開催（H18.10.28）

担当研究会：関西循環器撮影研究会

開催場所：奈良県立医科大学付属病院（受講者：32 名）

中間監査・常任理事会実施（NTT 東日本関東病院）(H18.11.3)

だより No.19 を発行（H18.11.15 付け）

会誌第 19 巻を発行（H18.12.23 発送）

だより No.20 を発行（H19.3.15 付け）

事務局会議・会誌だより配送（8 回）

##### (2) 庶務報告（田辺事務局長）

委嘱状関係

各理事宛に委嘱状を送付

役員・要請依頼状

各理事の施設長宛に要請状送付

講師派遣に伴う執務

東京大学医学部学長宛に中川恵一助教授の講師派遣依頼状を送付

奈良県立医科大学に施設利用許可願いを送付

被ばく低減セミナー執務

第 10・11・12 回の講師派遣依頼状受理

修了書の発行および送付

セミナー受講生募集の案内

講師派遣依頼に伴う執務

被ばく低減セミナーの講師派遣に係る業務

推進母体の研究会の講師派遣に係る業務

会誌・だより執筆依頼に伴う執務

東芝メディカルシステムズ宛に会誌原稿の執筆依頼状送付

株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン宛に会誌原稿の執筆依頼状送付

各推進母体へ、外国文献執筆依頼・施設紹介依頼

第 21 回総会・学術研究発表会の発表者に講演依頼状・前抄録依頼状・後抄録依頼状送付

著者校正原稿を依頼

広告関係

各メーカーに広告依頼状送付

協力していただけるメーカーへ広告要綱の送付

協力していただいたメーカーへお礼状・広告費の領収書・または請求書を送付

理事・推進母体との連絡業務

理事会・中間監査開催の連絡

議事録の送付

議案事項の事前連絡

平成 19 年度理事の推薦依頼文書を送付

その他の執務

会誌・だより編集および配送業務

平成 18 年度 全循研の各関係者の名簿を作成

第 20 回総会・学術研究発表会開催の礼状送付

大学病院医療情報ネットワーク (UMIN) へ代表者・事務局変更届けを送付

2) 平成 18 年度決算報告 (横山経理局長); 資料 1

3) 平成 18 年度監査報告 (水谷、横田監査委員)

議題 2 . 平成 19 年度活動計画案

1) 平成 19 年度活動計画案 (安永会長)

(1) 第 21 回全国循環器撮影研究会総会・学術研究発表会の開催 (H19/4/14)

(2) 会誌第 20 巻、会員名簿、全循研だよりの発行について

会誌第 20 巻、平成 19 年 12 月発行予定

全循研だよりの発行、発行回数は 3 回の予定

(3) 平成 19 年度研究助成について

一般研究助成 ... 応募なし

課題研究助成 ... 循環器撮影研究会に依頼

- (4) 循環器被ばく低減技術セミナーの開催について  
候補：循環器画像技術研究会  
催地と時期：東京都：平成 19 年 9 月 1 日（土）  
催地と時期：神奈川：平成 19 年 12 月 1 日（土）  
事務局の残り部数を確認し、60 部を循研に送る。  
防護分科会との共催することについて、公文書ならびに趣意書は準備しない。
- (5) ホームページと電子メールによる情報提供  
平成 19 年度もホームページと電子メールによる情報提供  
ホームページ講座の執筆依頼
- (6) 推進母体研究会への講師推薦・派遣
- (7) 被ばく線量低減推進施設認定制度を導入

2)平成 19 年度予算案（横山経理局長）；資料 2

3)平成 19 年度役員選出

(1)平成 19 年度

- ・会長候補：安永 国広（関西循環器撮影研究会）
- ・事務局候補：田辺 智晴（関西循環器撮影研究会）
- ・監事候補：水谷 宏（中四国循環器画像技術研究会）  
景山 貴洋（循環器画像技術研究会）

議題 3 . その他、理事会議題および提案

1) 被ばく線量低減推進施設認定制度について

時期：2007 年 4 月より開始

提出方法について：書類審査のみ

申請書方法とその流れ

施設内に全循研の会員が所属すること。

しかもその会員が被ばく低減セミナーを受講していること。

書類を揃えて推進母体に提出して、推薦書（書名および捺印）をもらう。

申し込み者が会長に提出する。

会長が認定委員に合否を依頼する。

認定合格の場合、事務局に連絡する。

認定証書の発行

その他

認定の合否方法について

- ・認定委員が行う

更新方法について

- ・5 年後の更新は事務局からのお知らせはしない。

被ばく低減セミナーの受講確認

- ・終了証書のコピーで確認する。

申し込み書類はどのようにして入手するか

- ・HP 上でダウンロードするようにする。

2) 事務局の今後の運営について

事務局業務分散型について

会長・事務局長は任期2年で交代とし、会員数の多い推進母体より完全当番制度で交代することについては、懸案とする。

総会・学術大会の実行委員は事務局ならびに循環器画像研究会よりより若干名の応援をお願いして運営を行う。

理事会の開催を3月中旬とし、各理事には日帰り交通費を支給する。平成19年度の理事会は3月15日(土)で決定。開催場所は東京品川近辺。

全循研の入金について、各推進母体において一括して入金するも、個人が事務局に振り込むも方法は適切に判断して行えば良い。

毎年、3月のだより発送時に総会の参加証としてのバーコードカードを発行しているが、正式に会員カード作成しそれを発行することにより総会・学術大会には会員証の提示で処理を行う。

3) 会誌編集について(案)

事務局の会誌編集委員を廃止する。

理事(編集委員)に査読・編集作業のすべてを一任する。

学術原稿は学術委員が企画する。

学術原稿の執筆依頼書は事務局より行う。

12月1日までに編集のすべての作業を完了する。

資料1

平成18年度 全国循環器撮影研究会収支決算書

(平成18年4月1日～平成19年3月15日)

収入の部

(単位：円)

勘定科目			予算額	決算額	備考
大科目	中科目	小科目			
<b>会費収入</b>			<b>2,560,000</b>	<b>3,095,000</b>	
	会費収入		<b>1,230,000</b>	<b>1,396,000</b>	
		一般会員会費	1,050,000	1,066,000	
		賛助会員会費	180,000	330,000	11社
	登録費収入		<b>200,000</b>	<b>99,000</b>	
		研究会参加登録費	200,000	99,000	
	広告費収入		<b>1,300,000</b>	<b>1,600,000</b>	
		会誌掲載広告費	1,300,000	1,600,000	27社
		全循研だより広告費	0	0	
<b>雑収入</b>			<b>150,050</b>	<b>194,185</b>	
	利息		50	509	
	テキスト代	被ばく低減セミナー テキスト代	150,000	188,000	
	その他		0	5,676	17年度事務費払い戻し
当期収入合計(A)			<b>2,710,050</b>	<b>3,289,185</b>	
前期繰越金(B)			1,042,290	1,042,660	
収入合計(C)=(A+B)			<b>3,752,340</b>	<b>4,331,845</b>	

## 支出の部

勘定科目			予算額	決算額	備考
大科目	中科目	小科目			
<b>事業費</b>			<b>2,624,000</b>	<b>2,440,000</b>	
	研究発表会費		534,000	359,400	
		会場費	300,000	48,400	
		講師料	50,000	127,000	小柴先生講演料, 交通費
		実行委員役務費	184,000	184,000	第19回総会実行委員役務費
	会誌費		1,100,000	1,277,875	
		印刷製本費	1,000,000	1,117,455	
		通信運搬費	100,000	160,420	
	研究助成金		240,000	40,000	
		学術奨励費	200,000	0	
		講演助成金	40,000	40,000	講師派遣費
	諸委員会費		750,000	762,725	
		セミナー開催助成	700,000	678,095	セミナーテキスト印刷代 (377150円)を含む
		委員会活動費	50,000	84,630	被曝防護低減ポスター製作代
<b>管理費</b>			<b>700,500</b>	<b>705,762</b>	
	会議費		220,000	73,550	
		常任理事会・監査費	20,000	28,550	
		理事会費	200,000	45,000	
	旅費交通費		250,000	269,110	
		常任理事会・監査旅費	250,000	269,110	
		理事会旅費	0	0	
	事務局運営費		195,000	363,102	
		会議費	100,000	170,770	会誌, だより編集校正作業交通費を含む
		通信費	45,000	164,520	
		消耗品費	50,000	27,812	事務用品等
	ホームページ運営費		30,000	0	
		メンテナンス費	30,000	0	ホームページ運営費
	予備費		5,500	0	
		雑費	5,500	0	
当期支出合計(D)			3,324,500	3,145,762	
当期収支差額(A)-(D)			-614,450	143,423	
次期繰越収支額			427,840	1,186,083	

資料2

平成19年度 全国循環器撮影研究会収支予算書(案)

(平成19年3月15日～平成20年3月31日)

収入の部

(単位:円)

勘定科目			予算額	備考
大科目	中科目	小科目		
<b>会費収入</b>			<b>2,680,000</b>	
	会費収入		<b>1,290,000</b>	
		一般会員会費	1,050,000	350名
		賛助会員会費	240,000	8社
	登録費収入		<b>140,000</b>	
		研究会参加登録費	140,000	会員(100×¥1,000),非会員(20×¥2,000)
	広告費収入		<b>1,250,000</b>	
		会誌掲載広告費	1,250,000	25社(平成18年度実績27社)
		全循研だより広告費	0	
<b>雑収入</b>			<b>150,300</b>	
	利息		300	
	テキスト代	被ばく低減セミナーテキスト代	150,000	150冊
当期収入合計(A)			<b>2,830,300</b>	
前期繰越金(B)			1,186,083	
収入合計(C)=(A+B)			<b>4,016,383</b>	

## 支出の部

勘定科目			予算額	備考
大科目	中科目	小科目		
<b>事業費</b>			<b>2,850,000</b>	
	研究発表会費		310,000	
		会場費	200,000	
		講師料	50,000	
		実行委員役務費	60,000	
	会誌費		1,500,000	
		印刷製本費	1,250,000	会誌、だより印刷代
		通信運搬費	250,000	会誌、全循研だより発送費
	研究助成金		240,000	
		学術奨励費	200,000	課題研究助成金
		講演助成金	40,000	講師派遣旅費助成
	諸委員会費		800,000	
		セミナー開催助成	750,000	被ばく低減セミナー(¥300,000)、テキスト印刷費(¥400,000)
		委員会活動費	50,000	
<b>管理費</b>			<b>495,500</b>	
	会議費		70,000	
		常任理事会費	20,000	会場費、日当
		理事会費	50,000	会場費
	旅費交通費		250,000	
		常任理事会・監査旅費	250,000	交通費
	事務局運営費		170,000	
		会議費	100,000	事務局引継ぎ、事務局運営会議費、役務費
		通信費	50,000	各種通信用切手代、郵送費
		消耗品費	20,000	事務用品等
	ホームページ運営費		0	
		メンテナンス費	0	ホームページ運営費
	予備費		5,500	
		雑費	5,500	
当期支出合計(D)			3,345,500	
当期収支差額(A)-(D)			-515,200	
次期繰越収支額(C)-(D)			670,883	